INFORMATION

No. 2205-21

新規受託のお知らせ

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

　平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

　この度、下記の項目につきまして、新規受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

　先生方には急なご連絡で大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

■検査要項

コード	検査項目名	採取容器	検体量	検査方法	基準値・単位	所要日数	実施料［判断料区分］
4965	インターロイキン－６（IL－６）	A	血清 0.6mL（凍結）	ECLIA	7.0 以下（pg/mL）（重症度判定の参考カットオフ値：100 pg/mL）	3日～4日	170点※［免疫学的検査］

※ インターロイキン－６（IL－６）は、全身性炎症反応症候群の患者（疑われる患者を含む。）の重症度判定の補助を目的として測定した場合に、一連の治療につき2回に限り算定する。なお、本検査を実施した年月日を診療報酬明細書に記載する。また、医学的な必要性から一連の治療につき3回以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

臨床的意義等につきましては、裏面をご参照ください。

■受託開始日

2022年　6月　1日（水）より受託開始

＊お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

株式会社　武蔵臨床検査所
〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 04-2964-2621　FAX 04-2964-6659
URL http://www.e-musashi.co.jp

■ インターロイキン－６（IL－６）

インターロイキン－６（Interleukin－６：IL－６）は数多くあるサイトカインの中で、数十種類発見されているインターロイキンの一つとして知られています。
外傷や感染などの侵襲が生体に加わるとサイトカインが産生され、特に侵襲が大きい場合はサイトカインの過剰産生（サイトカインストーム）を生じ、多臓器障害に至る場合があります。
IL－６は炎症早期に産生されるサイトカインであり、血中のIL－６値を測定することにより、臓器障害の発生を予測することが可能です。実際、全身性炎症反応症候群（SIRS）の患者ではIL－６濃度上昇に応じて、翌日の障害臓器数が有意に増加するとされています。また、IL－６値のカットオフ値を 100 pg/mL （重症度判定の参考カットオフ値）とした場合、翌日の多臓器障害の予測性能は、感度 79%、特異度 70%とされ、SIRS患者の重症度判定に有用な検査となります。
さらに最近では、新型コロナウイルス感染症を重篤化させる大きな要因の一つとしてIL－６の過剰産生が報告されており、新型コロナウイルス感染症における重症化マーカーとしても注目されています。